

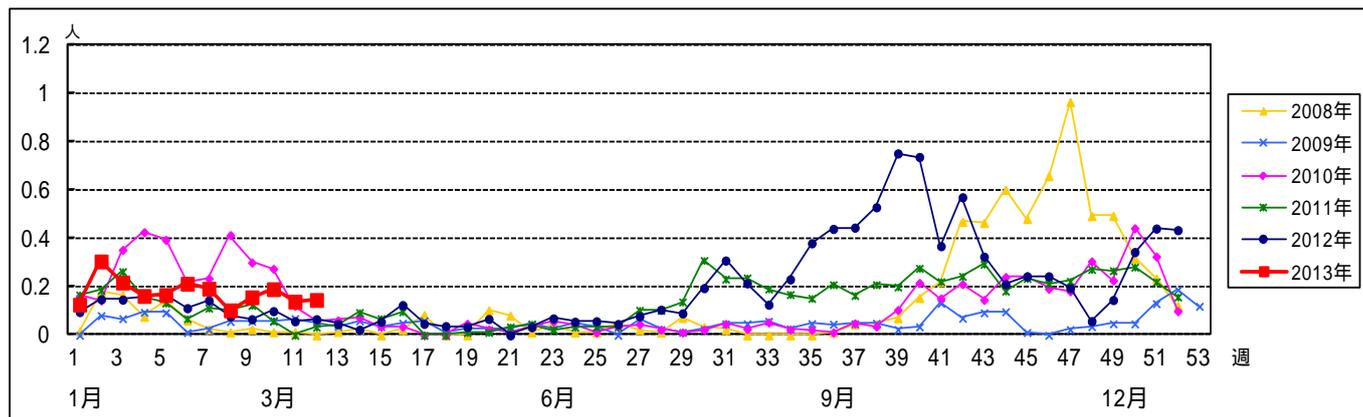


8 **麻疹**:10歳代の報告が1件ありました。4歳時に麻疹の予防接種歴が1回ありました。発熱、発疹、カタル症状から臨床診断されています。PCR検査は実施できませんでした。周囲に麻疹の感染者はいませんでした。平成25年4月1日より適用となる「[麻疹に関する特定感染症予防指針](#)」では、「臨床診断をした時点でまず臨床診断例として届出を行うとともに、血清IgM抗体検査等の血清抗体価の測定の実施と、都道府県等が設置する地方衛生研究所でのウイルス遺伝子検査等の実施のための検体の提出を求めるものとする」とされています。

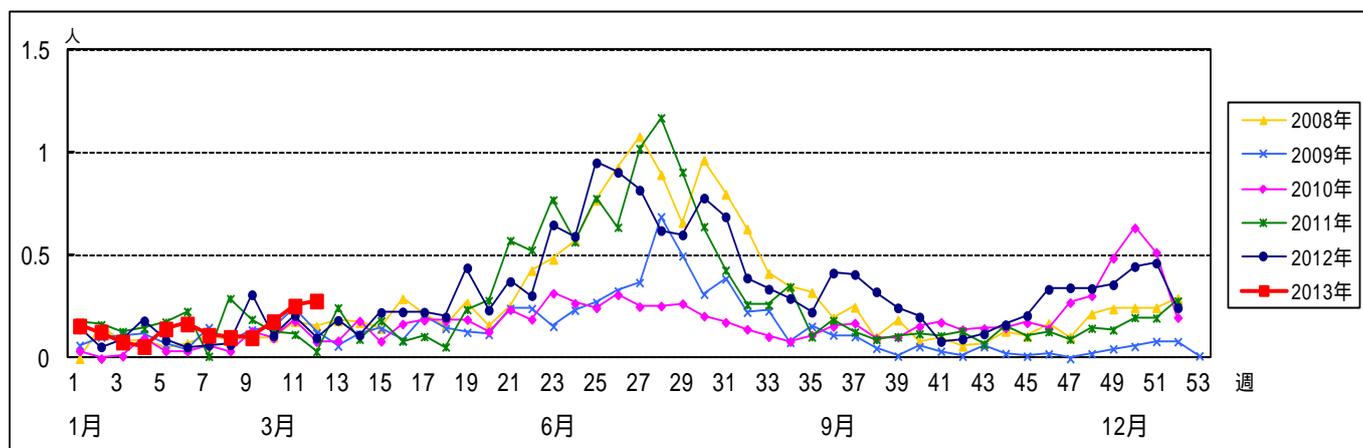
## 定点把握の対象

1 **RSウイルス感染症**:第12週は市全体で定点あたり0.15と、例年に比べやや報告数が多くなっています。RSウイルス感染症は感染力が強く、生後1歳までに70%、2歳までにほぼ100%が初感染を受けると言われています。また、再感染も多く、感染者の1~3%は重症化することが指摘されていますので注意が必要です。

平成25年 週 - 月日対照表	
第9週	2月25日~3月3日
第10週	3月4~10日
第11週	3月11~17日
第12週	3月18~24日



2 **咽頭結膜熱**:第12週は市全体で定点あたり0.28と、例年に比べやや報告が多くなっています。特に、金沢区で2.60と報告が多くなっており、注意が必要です。



3 **性感染症**:2月は、性器クラミジア感染症は男性が17件、女性が13件でした。性器ヘルペス感染症は男性が4件、女性が7件です。尖圭コンジローマは男性5件、女性が1件でした。淋菌感染症は男性が16件、女性が1件でした。

4 **基幹定点週報**:全国ではマイコプラズマ肺炎が定点あたり1.00を超える状況が長らく続いていましたが、昨年の年末に1.00を下回り、第12週では0.58とやや落ち着いてきています。横浜市でも第9週0.33、第10週1.50、第11週1.00、第12週2.00、と、以前に比べて報告数はやや落ち着いてきましたが、まだ多い状況が続いており、引き続き注意が必要です。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

5 **基幹定点月報**:2月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症2件が報告されました。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>